

第三部 内定者の官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半に内定者の一問一答形式の質問も載せていますので、訪問前のイメージトレーニングに是非お役立てください。

なお、掲載している情報はあくまで H29 年度官庁訪問における経験に基づき内定者の視点から語られたものであり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の簡単な流れ －

官庁訪問前

環境省にメールで訪問希望日を予約しました。

面接シートを HP からダウンロードし、記入しておきました。記入は手書きでもパソコン入力でも、自身に都合の良い方でよいと思います。

↓

官庁訪問当日

指定された時間・会場に集合。昼休みを挟み、一日かけて複数回の面接を行いました。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の面接 －

官庁訪問は1日かけて行われました。実施年度や個人による違いもあると思いますが、今年度は1対1、1対3の面接が複数回行われました。今年度は、グループディスカッションなどは行われませんでした。

1回の面接は平均して30分、内容はエントリーシートに沿ったものやその掘り下げが多かったです。次の面接までの待ち時間は、面接官の仕事との兼ね合いもあり、1時間以上になることもありました。その間は、他の訪問者や官庁訪問担当の方と雑談をしたり、持ち込んだ資料やノートを読んだりと自由にできました。また、面接後に面接官からアドバイスをいただけることもあり、その場合はそのアドバイスを次の面接に活かせるように準備すると良いでしょう。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の服装 －

官庁訪問は正式な採用選考であるため、リクルートスーツが一般的です。しかし、官庁訪問はクールビズ期間である夏に行われるため、ノージャケット・ノーネクタイの軽装で問題ありませんし、面接官も理解しているため、よほど乱れた服装でなければ軽装をとがめられることはありません。実際、当日はノージャケットの訪問者の方が多数派だったように思います。

一 環境省の官庁訪問（一般職試験）の体験記(質問形式) 一

-----情報を手に入れづらい....官庁訪問って実際どんな感じ?-----

【省の業務内容はどうやって調べましたか？】

- ・ベーコン：主に説明会に訪れて情報を入手しました。HPや白書を用いて勉強もしましたが、省やそこで働く人たちの雰囲気を感じるには、説明会に足を運ぶことが一番だと思います。地方出身のため、東京を訪れる際には出費がかさみましたが、将来への必要投資と考え、割り切りました。
- ・つなまよ：新聞やTVなどで環境に関わる話題が出た時に、環境省ではどのような事を行っているのか調べました。媒体は主にWebや説明会の時のパンフレットを参照しました。

【官庁訪問前に準備した事は何ですか？】

- ・ベーコン：面接シートの作成や予想される質問への回答の準備に力を入れました。説明会や白書で学んだ業務内容を見直し、入省後にやりたいことを述べる際の具体例などとしてすぐに引用できるようにすると良いかもしれません。また、地方出身のため宿泊用のホテルを早めに予約しました。官庁訪問は体力勝負でもあるため、休息が十分に取れそうなホテルを予約しました。
- ・つなまよ：自分が環境省に入ったらやってみたい仕事について詳しく調べていました。局や部署などでやっている業務内容を詳しく調べるとともに、それが社会にとってどのような影響があるのかを調べました。

【官庁訪問全体の印象はいかがでしたか？】

- ・ベーコン：終わってみれば楽しかったです！（もう一度挑戦したいとは思いませんが…笑）職員の方の経験や考えなどに多く触れることができ、非常に糧になる経験でした。また、そうして得た経験などを活かして官庁訪問中にどれだけ成長できるか、なども重要な選考ポイントであると感じました。
- ・つなまよ：物凄く緊張しました。ただ、面接は面接官の方が仕事を行っている部屋の隅などで行われるため、働いている方々の雰囲気などを実際に見ることができ、非常に楽しかった印象があります。

【官庁訪問全体で失敗した/苦労した点は何ですか？】

- ・ベーコン：自分の考えや伝えたいことをしどろもどろにならずに整理して話すことに苦労しました。ただ、面接官の方々はどなたも熱心に聞いてくださるので、かんだりしても焦らず落ちついて話すの良いと思います。
- ・つなまよ：官庁訪問が始まってすぐの面接でうまく受け答えできなかった事です。自己PRなども考えていましたが、緊張で口が回らずしどろもどろになってしまいました。しかし、面接は数回あるので気持ちを切り替えて次の面接に臨みました。

【環境省で印象に残ったやりとりはありましたか？】

- ・ベーコン：官庁訪問序盤は緊張していましたが、控室で若手職員の方が話しかけてくださったのがありがたかったです。そのおかげで後半は比較的にリラックスして面接に臨むことができました。
- ・つなまよ：「CO2 や排ガスによる汚染を少なくするためにどうすればよいか。」という質問に僕は排出量の制限という考えしかありませんでした。しかし、それは企業の経済活動を妨げるため、いきなり規制を行うのではなく、企業自身に努力をしてもらえようという枠組み作りが必要という話をお聞きして、いろいろな視点を持ち、柔軟に考えていく必要があると感じました。

【環境省の面接中に困った質問はありましたか？】

- ・ベーコン：「イノベーションはどんな時に生まれると思う？」という質問がありました。今まで受けたことがない質問かつ事前の想定外の質問だったためかなり驚きました。自身の研究で良いアイデアが思いついた際の経験などに沿って回答し、切り抜けることができました。事前の準備等で自身の経験を振り返っておくことが、想定外の質問に対しても自分の言葉で回答するための一助になるかもしれません。
- ・つなまよ：「自分の強みを3つ答えてください」という質問があり、2つ目まではあらかじめ考えていたのですが、3つ目はすぐに浮かびませんでした。自己分析を十分にやっていたので何とかひねり出すことができました。

【環境省の訪問前後のイメージに変化はありましたか？】

- ・ベーコン：大きなイメージの変化はありませんでした！！事前の説明会でも官庁訪問でも、省全体の雰囲気はもちろん、職員の方々の環境への強い熱意や暖かい人柄もひしひしと感じ、「この省で働きたい！」という想いがさらに強くなりました。
官庁訪問、特に一般職は非常に短期決戦であるため、本番までに説明会などである程度イメージを掴んでおくことが有用かもしれません。
- ・つなまよ：自分の研究内容的に環境に関係があり、元から環境省の情報を集めていた事もあって、いい意味でイメージはあまり変わりませんでした。しかし、官庁訪問を通じて様々な職員の方々とお話をしましたが、非常に話しやすく、一人一人が環境に対し熱意をもって仕事をされていると感じました。